

CS

CODE AND SPECIFICATIONS SHEET

指示警報計 VIA88A 形



VIA88A 形指示警報計は温度、圧力、流量、液面など各種のプロセス測定信号を高信頼度、長寿命の LED でバーグラフ指示し、同時に警報動作を行います。

警報設定は側面にて行いその値をバーグラフ上に表示しますので、プロセス監視に便利です。また、警報（上下限、上上限、下下限）の設定、リレー動作（励磁形、非励磁形）の設定も側面のスイッチにて行いますので変更時に便利です。

標準仕様

入力信号 DC1~5V（入力抵抗 500kΩ以上）
オプションとして下表も可能

測定値入力	仕様
DC4~20 mA	入力抵抗 250Ω
DC4~20 mA (注1) (2線式伝送器 電源 DC24V 出力付き)	伝送器電源電圧 : DC24 V 伝送器電源スイッチ : あり 入力回路短絡保護 : あり 許容負荷抵抗 伝送器(71 シリーズ以降) : 400Ω以下 伝送器(31 シリーズ) : 180Ω以下 ディストリビュータ出力 : なし ダンパ機能 : なし 開平機能 : 付も可
熱電対入力(注2)	熱電対の種類 : R、K、J、T、E 入力スパン : 10 mV 以上 リニアライズ : 付 冷接点補償回路 : 付 バーンアウト動作 : アップ
測温抵抗体入力 (3線式)(注2)	測温抵抗体の種類 : Pt100 入力スパン : 50℃以上 リニアライズ : 付 バーンアウト動作 : アップ

入力点数 1点

指示形	0~100%又は実目盛（シングル目盛）
指示目盛	100mm（赤色バーグラフ表示）
目盛長	101
表示セグメント数	1%FS
指示分解能	±0.5%FS（入力：増加方向の場合）
指示精度	2点警報
警報	上下限/上上限/下下限のいずれかを計器側面のスイッチで設定(出荷時：上下限)
警報動作	計器側面の可変抵抗器にて設定
警報点の設定	正面のバーグラフ上に高輝度カーソル表示
設定点の表示	±1.5%FS（設定つまみによる設定精度）
設定精度	±0.2%（設定つまみが同位置（無操作）で繰り返し警報が発生させた時の再現性）
警報動作点の再現性	(注3)

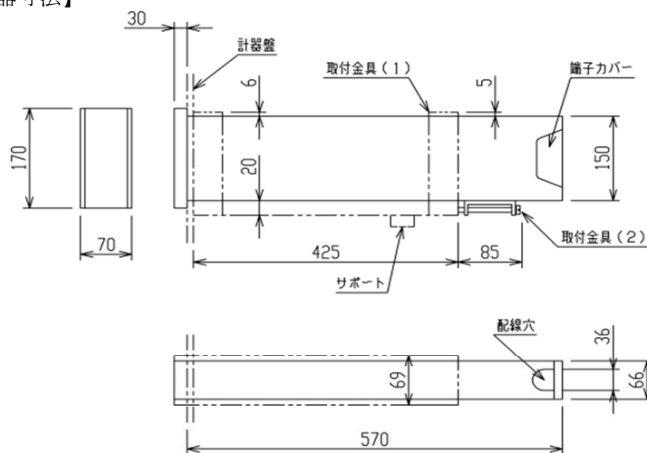
警報動作点のヒステリシス 0.3~0.7%
警報リレー動作 正常時非励磁形(下図)又は正常時励磁形
上記のいずれかを計器側面のスイッチで設定（出荷時：正常時非励磁形）

	下限警報点	上限警報点
上限警報リレー	非励磁	非励磁 励磁
下限警報リレー	励磁	非励磁 非励磁
警報出力	リレー接点 (a, b 接点) 接点容量 AC100V 1A(抵抗負荷) DC30V 1A(抵抗負荷) 接点材質 金めっき	
アイソレーション電	入カ-出力間:あり, 電源-入出力間:あり DC24V±10% 0.16A または AC100/110/115V±10% 8VA 50/60 Hz ※オプション : DC100V±10% (電源投入後約1秒間の消費電流は上記の2倍となります)	
絶縁抵抗	各端子と接地端子(C9)間 : 100MΩ以上/DC 500V	
耐電圧	電源端子と接地端子間 : AC1500 V 1分間 警報出力端子と接地端子間 : AC1500 V 1分間	

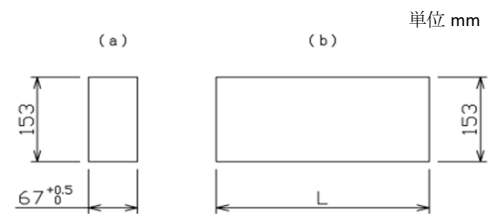
周囲温度	0～50℃	塗	色	正面：マンセル N3.0 (半つや)
周囲湿度	5～90%RH (結露しないこと)			ケース枠：マンセル N7.0 (半つや)
周囲雰囲気	本器は精密機器ですから腐食性ガス、 粉塵のない場所でご使用ください。	盤	付	ケース：マンセル N7.0 (半つや)
取	付	輸	送	計器盤に本計器を取付けたまま輸送する ときは、輸送用シャーシロックねじが ありませんので、シャーシが前方に抜け 出さないようにクッション付バンドなど で抜け止めをしてください。
質	量	付	属	品
	約 5.0 kg			取付金具(本体に取付けてあります)・・・1 ヒューズ (1 A) (AC 電源のみ)・・・ 2
				(下記の (注 1) 、 (注 2) を併せてご覧ください)
				(注 3) 周囲温度影響：±0.2%/10℃

寸法図

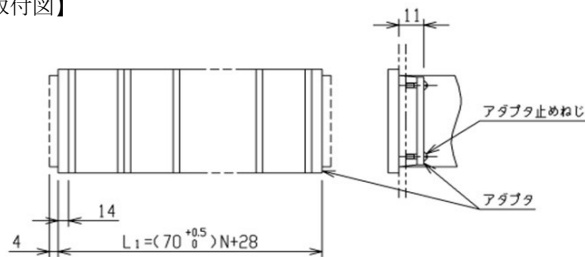
【計器寸法】



【盤穴図】



【計器取付図】

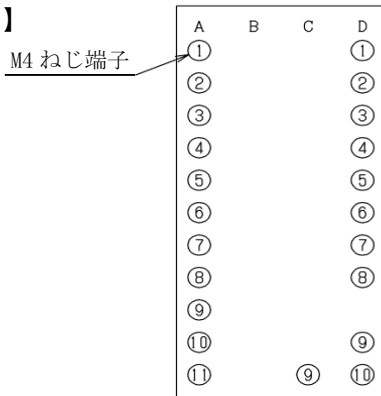


- (注) 1. 盤穴図 (a) は 1 台の場合の寸法です。
 2. 盤穴図 (b) は N 台密着して取付ける場合の寸法です。
 $L = (70N + 10) + 0$
 N 台の計器を密着して取付ける場合は必ずアダプタを使用してください。(計器取付図参照)
 3. サポートは取付金具寸法 (425 mm 寸法) の範囲以内の位置に取付けてください。
 4. 取付金具は計器上下どちらからでも (図示と反対側からでも) 取付けられます。

外部接続図

端子番号 A	接続信号	端子番号 B	接続信号	端子番号 C	接続信号	端子番号 D	接続信号
1	+ } 入力信号 - } (DC1~5V, 4~20mA 以外 は下図参照)	1		1		1	警報出力 1(No.1) (下図参照)
2		2		2		2	
3		3		3		3	
4		4		4		4	
5		5		5		5	
6		6		6		6	
7		7		7		7	
8		8		8		8	
9		9		9		9	
10		10		10		10	
11					接地	9	+ (U) } 電源 - (V) }

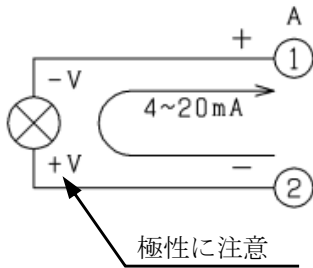
【端子配列図】



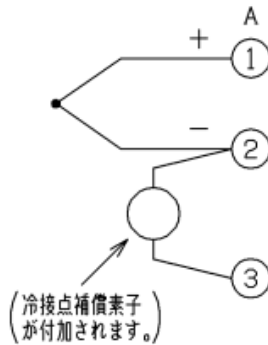
- (注) 1. 接地端子は、接地抵抗 100Ω 以下の接地線に接地してください。
2. デジタル入力にリレー接点を接続する場合、ブザーなどの誘導性負荷を接続する場合は、ダイオードやサージキラーなどの火花消去素子をコイルに並列に付加してください。
3. DC 電源の場合はヒューズを内蔵していません、必要な場合は外部に付けてください。
ヒューズは速断ヒューズ (1A) を必要とします。
(日立指定のヒューズを使用ください)

【入力信号の直入力信号の接続例】

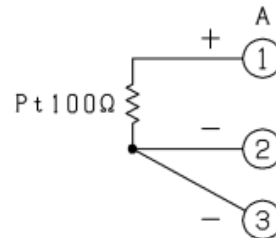
2線式伝送器電源付 (コード:2W, 2WR)



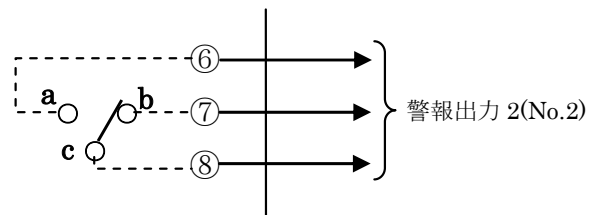
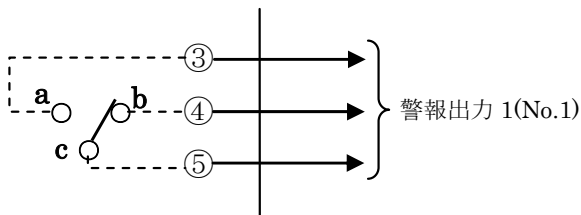
熱電対入力 (コード:T)



測温抵抗体入力 (コード:C)



【警報リレー出力 a, b 接点】



コード表

形 式	コード				内 容
	1	2	3	4	
	入力	目盛	電源	塗色	
VIA88A					パネル埋込形
	5				入力 DC1~5V
	20				入力 DC4~20mA
	2W				入力 DC4~20mA (2線式伝送器電源付)注1
	2WR				入力 DC4~20mA (2線式伝送器電源及び付開平機能付)注1
	T ()				熱電対入力 () 内熱電対の種類及び温度範囲を指定 注1,注2
	C ()				測温抵抗体(Pt100)入力, () 内温度範囲を指定 注1,注2
		S			目盛 0~100%リニア (シングル)
		MS ()			目盛 0~100%以外 (シングル), () 内目盛範囲, 単位記入
			24		電源 DC 24V
			100		電源 AC 100V 50/60 Hz
			110		電源 AC 110V 50/60 Hz
			115		電源 AC 115V 50/60 Hz
				0	ケース枠塗色 標準
				CL ()	ケース枠塗色 特殊 ()内に塗色指定

□ 内は標準仕様です。標準仕様は指定の必要がありません。(ご指定のない項目は標準仕様で製作します。)

コード例 : VIA88A-2W-MS (0~200t/h) -100

VIA88A-T (K, 0~250°C)

VIA88A-T (J81, K, 0~250°C) : 旧 JIS 規格適用の場合 (例は JIS C1602-1981 の場合)

VIA88A-C (Pt 100Ω, 0~100°C)

VIA88A-C (J81, Pt 100Ω, 0~100°C) : 旧 JIS 規格適用の場合 (例は JIS C1602-1981 の場合)

(注1) DC 1~5V, DC4~20mA 入力以外の入力をご指定の際は、標準仕様欄(注1), (注2)を参照の上、手配してください。

(注2) 温度範囲の指定については、日本電気計測器工業会 (JEMIS) 標準目盛をご指定ください。

- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 改良のため外観及び仕様の一部を変更することがあります。